

◆各年次の到達目標

<経営学部経営学科>（認定課程：高一種免（商業））

履修年次		到達目標
年次	時期	
1年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・教職に関する制度や専門性等について、基礎的知識を理解する。 ・現代教育に関する基礎的素養を理解する。 ・社会科学系科目の履修を通して、経営学、経済学および法学をはじめとする社会科学の基礎知識を修得する。
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・教育の歴史・思想・原理・制度などについて、基礎的知識を理解する。 ・高等学校の機能・役割，高等学校教諭の役割・責務，高等学校の教育環境について，基礎的知識を理解し，基礎的技術を習得する。 ・経営学分野に関する基礎的知識を修得し，その学問に基づく社会的事象の見方・考え方を理解する。
2年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒指導・進路指導について，基礎的知識を理解する。 ・教育心理について，基礎的知識を理解する。 ・教育相談について，基礎的知識を理解する。
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒を対象とする教育課程（カリキュラム）について，多様なカリキュラムの編成原理・編成方法について基礎的知識を理解する。 ・教育の方法と技術，情報機器及び教材の活用に関する基礎的知識を理解する。
3年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・模擬授業を実践することで，生徒の主体的・対話的な学びの方法について習得する。 ・多様な教授方法を習得しながら，商業科の教科内容について理解する。 ・学部の専門領域の探究を深め、社会科学の素養を持つ商業教育担当者としての自己を構想する。 ・特別活動・総合的な学習の時間の指導法について，基礎的知識を理解する。 ・特別支援教育について，基礎的知識を理解する。
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領に示された各科目の性格，目標，内容とその取扱いを理解する。 ・商業科の教育方法について習得し，学習指導案を立案する。 ・学部の専門領域の探究をさらに深め、社会科学の素養を持つ商業教育担当者としての自己吟味を促す。 ・情報機器や教材の効果的な活用法を理解し，授業構想に反映する能力を習得する。 ・教員とのディスカッションにより，学校経営の基礎的理解と基礎的素養を理解する。
4年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・高等学校における教育実習により，教科指導力を向上し，学級経営を円滑に進める基礎的スキルを習得する。 ・教育実習を通じて獲得した成果と課題を，グループディスカッションによって省察し，教員として求められる資質等の継続的な深化を図る。 ・学級担任として求められる生徒理解と学級経営の能力を身に付ける。
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・教職に関する実践的な演習を重ねることを通じて，教員として必要な資質と授業力を向上する。 ・教職に求められる社会性とコミュニケーション能力を身に付ける。 ・各学校の実情に合わせたカリキュラム・マネジメントを実施する意義を理解する。 ・学校と地域の連携に仕方と学校安全に関する具体的な取り組みを理解する。

◆各年次の到達目標

<経営学部経営学科>（認定課程：高一種免（情報））

履修年次		到達目標
年次	時期	
1年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・教職に関する制度や専門性等について、基礎的知識を理解する。 ・現代教育に関する基礎的素養を理解する。 ・社会科学系科目の履修を通して、経営学、経済学および法学をはじめとする社会科学の基礎知識を修得する。
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・教育の歴史・思想・原理・制度などについて、基礎的知識を理解する。 ・高等学校の機能・役割，高等学校教諭の役割・責務，高等学校の教育環境について，基礎的知識を理解し，基礎的技術を習得する。 ・経営学分野に関する基礎的知識を修得し，その学問に基づく社会的事象の見方・考え方を理解する。
2年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒指導・進路指導について，基礎的知識を理解する。 ・教育心理について，基礎的知識を理解する。 ・教育相談について，基礎的知識を理解する。
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒を対象とする教育課程（カリキュラム）について，多様なカリキュラムの編成原理・編成方法について基礎的知識を理解する。 ・教育の方法と技術，情報機器及び教材の活用に関する基礎的知識を理解する。
3年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・模擬授業を実践することで，生徒の主体的・対話的な学びの方法について習得する。 ・多様な教授方法を習得しながら，情報科の教科内容について理解する。 ・学部の専門領域の探究を深め、社会科学の素養を持つ情報教育担当者としての自己を構想する。 ・特別活動・総合的な学習の時間の指導法について，基礎的知識を理解する。 ・特別支援教育について，基礎的知識を理解する。
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領に示された各科目の性格，目標，内容とその取扱いを理解する。 ・情報科の教育方法について習得し，学習指導案を立案する。 ・学部の専門領域の探究をさらに深め、社会科学の素養を持つ情報教育担当者としての自己吟味を促す。 ・情報機器や教材の効果的な活用法を理解し，授業構想に反映する能力を習得する。 ・指導教員とのディスカッションにより，学校経営の基礎的理解と基礎的素養を理解する。
4年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・高等学校における教育実習により，教科指導力を向上し，学級経営を円滑に進める基礎的スキルを習得する。 ・教育実習を通じて獲得した成果と課題を，グループディスカッションによって省察し，教員として求められる資質等の継続的な深化を図る。 ・学級担任として求められる生徒理解と学級経営の能力を身に付ける。
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・教職に関する実践的な演習を重ねることを通じて，教員として必要な資質と授業力を向上する。 ・教職に求められる社会性とコミュニケーション能力を身に付ける。 ・各学校の実情に合わせたカリキュラム・マネジメントを実施する意義を理解する。 ・学校と地域の連携に仕方と学校安全に関する具体的な取り組みを理解する。

◆各年次の到達目標

＜法学部ビジネス法学科＞（認定課程：中一種免（社会））

履修年次		到達目標
年次	時期	
1年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・教職に関する制度や専門性等について、基礎的知識を理解する。 ・現代教育に関する基礎的素養を理解する。 ・社会科学系科目の履修を通して、法学、経済学および経営学をはじめとする社会科学の基礎知識を修得する。
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・教育の歴史・思想・原理・制度などについて、基礎的知識を理解する。 ・中学校の機能・役割、中学校教諭の役割・責務、中学校の教育環境について、基礎的知識を理解し、基礎的技術を習得する。 ・法学分野に関する基礎的知識を修得し、その学問に基づく社会的事象の見方・考え方を理解する。
2年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒指導・進路指導・教育心理などについて、基礎的知識を理解する。 ・多様な教授方法を習得しながら、社会科の教科内容について理解する。 ・地理・歴史に関する科目を履修し、中学校社会科教育に必要な基礎的知識を理解する。 ・道徳の指導法について、基礎的知識を理解する。
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒を対象とする教育課程（カリキュラム）について、多様なカリキュラムの編成原理・編成方法について基礎的知識を理解する。 ・社会科の教育方法について習得し、学習指導案を立案する。 ・教育相談について、基礎的知識を理解する。
3年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・模擬授業を実践することで、生徒の主体的・対話的な学びの方法について習得する。 ・特別活動・総合的な学習の時間の指導法について、基礎的知識を理解する。 ・特別支援教育について、基礎的知識を理解する。 ・教育の方法と技術、情報機器及び教材の活用に関する基礎的知識を理解する。
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校における教育実習により、教科指導力を向上し、学級経営を円滑に進める基礎的スキルを習得する。 ・介護等体験実習により、特別支援教育の理解を深化する。 ・学習指導要領に示された各科目の性格、目標、内容とその取扱いを理解する。 ・情報機器や教材の効果的な活用法を理解し、授業構想に反映する能力を習得する。
4年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・教育実習を通じて獲得した成果と課題を、グループディスカッションによって省察し、教員として求められる資質等の継続的な深化を図る。 ・学級担任として求められる生徒理解と学級経営の能力を身に付ける。 ・教員とのディスカッションにより、学校経営の基礎的理解と基礎的素養を理解する。
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・教職に関する実践的な演習を重ねることを通じて、教員として必要な資質と授業力を向上する。 ・教職に求められる社会性とコミュニケーション能力を身に付ける。 ・各学校の実情に合わせたカリキュラム・マネジメントを実施する意義を理解する。 ・学校と地域の連携に仕方と学校安全に関する具体的な取り組みを理解する。

◆各年次の到達目標

＜法学部ビジネス法学科＞（認定課程：高一種免（公民））

履修年次		到達目標
年次	時期	
1年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・教職に関する制度や専門性等について、基礎的知識を理解する。 ・現代教育に関する基礎的素養を理解する。 ・社会科学系科目の履修を通して、法学、経済学および経営学をはじめとする社会科学の基礎知識を修得する。
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・教育の歴史・思想・原理・制度などについて、基礎的知識を理解する。 ・高等学校の機能・役割、高等学校教諭の役割・責務、高等学校の教育環境について、基礎的知識を理解し、基礎的技術を習得する。 ・法学分野に関する基礎的知識を修得し、その学問に基づく社会的事象の見方・考え方を理解する。
2年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒指導・進路指導について、基礎的知識を理解する。 ・教育心理について、基礎的知識を理解する。 ・教育の技術、情報機器及び教材の活用に関する基礎的知識を理解する。
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒を対象とする教育課程（カリキュラム）について、多様なカリキュラムの編成原理・編成方法について基礎的知識を理解する。 ・教育相談について、基礎的知識を理解する。
3年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・模擬授業を実践することで、生徒の主体的・対話的な学びの方法について習得する。 ・多様な教授方法を習得しながら、公民科の教科内容について理解する。 ・特別活動・総合的な学習の時間の指導法について、基礎的知識を理解する。 ・特別支援教育について、基礎的知識を理解する。
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領に示された各科目の性格、目標、内容とその取扱いを理解する。 ・公民科の教育方法について習得し、学習指導案を立案する。 ・情報機器や教材の効果的な活用法を理解し、授業構想に反映する能力を習得する。 ・教員とのディスカッションにより、学校経営の基礎的理解と基礎的素養を理解する。
4年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・高等学校における教育実習により、教科指導力を向上し、学級経営を円滑に進める基礎的技術を習得する。 ・教育実習を通じて獲得した成果と課題を、グループディスカッションによって省察し、教員として求められる資質等の継続的な深化を図る。 ・学級担任として求められる生徒理解と学級経営の能力を身に付ける。
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・教職に関する実践的な演習を重ねることを通じて、教員として必要な資質と授業力を向上する。 ・教職に求められる社会性とコミュニケーション能力を身に付ける。 ・各学校の実情に合わせたカリキュラム・マネジメントを実施する意義を理解する。 ・学校と地域の連携に仕方と学校安全に関する具体的な取り組みを理解する。

◆各年次の到達目標

＜教育保育学科＞（認定課程：幼稚園教諭養成課程）

履修年次		到達目標
年次	時期	
1年次	前期	子どもの育ちを支援することのすばらしさやおもしろさを実感し、同時に、学びの姿勢や、社会人としてのマナーを習得する。幼稚園の機能・役割、幼稚園教諭の役割・責務、幼稚園の教育環境について、基礎的知識・基礎的技能を修得する。教職や教育制度について基礎的知識を修得する。エデュケアの考え方を知り、乳幼児の発達や遊びの系統性について基礎的な理解をもつ。このような知識・技能の獲得や現場体験を基に、主体的なコース選択（進路選択）につなげる。
	後期	幼稚園教育要領の領域より表現指導法の基礎を理解する。幼稚園教諭の役割・責務や、その専門性等について詳細に理解する。幼児教育の歴史・思想・原理の基礎的知識を修得する。 幼児や遊び・基本的な生活習慣などの側面からの発達段階や学びについての心理学を理解する。 現場体験を通して、保育者になるという自覚をもち、将来へのビジョンを形成する。また、自分自身の資質・能力に気づき、今後身に付けるべき資質・能力獲得に向けた学びを進める。
2年次	前期	幼稚園教育要領の領域より健康指導法の基礎を理解する。乳児から幼児を見通した発達を理解する。幼児を対象とする教育課程（カリキュラム）について、多様なカリキュラムの編成原理・編成方法について基礎的知識を修得する。
	後期	学外幼稚園での実習（観察・参加実習）の事前事後学習を中心に、短期の教育の計画（日指導計画案）の立案方法の基礎的知識を修得する。 幼稚園教育要領の領域より言葉・人間関係・環境指導法の基礎を理解する。
3年次	前期	幼稚園教育の一つである食育について、子どもの発育・発達過程に応じた食事支援方法を実践的に学び、食や生活の問題点の改善策を議論する。また障害のある子どもへの保育について、基礎的知識を修得する。 学外幼稚園での実習（部分・責任実習）の事前事後学習を中心に、短期の教育の計画（日指導計画案）を立案し、具体的な支援・指導方法を修得する。
	後期	教育の方法・技術を理解し、幼稚園教育要領の各領域について、小学校教育との連続性・系統性を理解する。
4年次	前期	豊かな人間性を基礎に、使命感と情熱をもち、子どもの育ちを支えるために自ら学び、自らを高める力を獲得する。さらに、子どもを取り巻く環境の課題と、社会的な支援のあり方について探求できる。また、幼稚園の役割の一つである、子育て支援のうち、幼児期の教育に関する相談について基礎的知識・技能を修得する。 ※関連するディプロマポリシー（教育目標） ①子どもの育ちを支えるために自ら学び、自らを高める力。 ②子どもを取り巻く環境の課題と社会的な支援のあり方を探求する力。
	後期	教員として最小限必要な知識・技術・態度として、エデュケアの考え方にに基づき、教職の意義や教員の果たす役割を理解する。さらに、子どもの発達を軸にして、子どもを理解し、集団形成過程を把握し、そして、子どもとの信頼関係を築きながら、クラス運営を円滑に進め、遊びを通じた総合的指導を行えるようにする。 ※関連するディプロマポリシー（教育目標） ③子どもの発達を軸にして保育・教育を考える力。 ④エデュケアの考え方にに基づき保育・教育を実践する力。

◆各年次の到達目標

＜教育保育学科＞（認定課程：小学校教諭養成課程）

履修年次		到達目標
年次	時期	
1年次	前期	子どもの育ちを支援することのすばらしさやおもしろさを実感し、同時に学びの姿勢や社会人としてのマナーを習得する。小学校の機能・役割、小学校教諭の役割・責務、小学校の教育現場について、基礎的な知識・技能を習得する。教職や教育制度について基礎的な知識を習得する。エデュケアの考え方を知り、児童の発達や学びの系統性について基礎的な理解を得る。このような知識・技能の習得や小学校現場の見学・参観を基に、主体的なコース選択（進路選択）につなげる。
	後期	子どもの心身の発達や心身の発達と環境の相互作用についての基礎的な知識を習得し、子どもたちの発達に対する教育の意義を知る。小学校学習指導要領の趣旨を理解する中で、教科（国語・社会・算数）における知識・技能の習得や思考力・判断力・表現力の育成について学び合う。
2年次	前期	教育に関する法制度の基本的な知識を習得し、学校・家庭・地域の連携や学校安全への対応などの学校経営の基本的事項について理解する。学習指導案の作成や模擬授業、その後の研究協議を通して、教科（国語・社会・算数）における児童を中心に据えたよりよい授業づくりについて学び合う。
	後期	教育課程の意味や役割について理解を深めると共に、小学校学習指導要領の内容について理解する。学習指導案の作成や模擬授業、その後の研究協議を通して、教科（生活・音楽・図工・家庭・体育）における児童を中心に据えたよりよい授業づくりについて学び合う。
3年次	前期	学習指導案の作成や模擬授業、その後の研究協議を通して、教科（理科・外国語）における児童を中心に据えたよりよい授業づくりについて学び合うと共に、特別の教科（道徳）の教育法についても基礎的な知識を習得する。小学校教育実習に向けての事前学習として、よりよい授業づくりや学級づくりの基礎的な知識と技能を習得し合う。
	後期	児童期における子どもたちが抱える課題を理解し、育ちや学びを支援するための知識や技能について理解を深める。小学校での教育実習に取り組み、観察・参加・授業実践などを通して児童への指導や支援のあり方について具体的に学ぶ。実習後も近隣小学校における学習支援ボランティアの活動などに積極的に参加し、自分の学びをさらに広げたり深めたりする。
4年次	前期	豊かな人間性を基礎に、使命感と情熱をもち、児童の成長を支えるために自ら学び、自らを高める力を獲得する。さらに、児童を取り巻く環境の課題と社会的な支援のあり方について探求できる。そのため、地域貢献活動の一環として、近隣小学校における学習支援ボランティアの活動にも積極的に参加し、自らの力量向上に努める。 ※関連するディプロマポリシー（教育目標） ①子どもの育ちを支えるために自ら学び、自らを高める力 ②子どもを取り巻く環境の課題と社会的な支援のあり方を探求する力
	後期	教員として最小限必要な知識・技能・態度として、エデュケアの考え方に基づき、教職の意義や教員の果たす役割を理解する。さらに、児童の発達を軸にして、児童を理解し、集団形成の過程を把握し、児童との信頼関係を築きながら、学級経営を円滑に進め、心身の豊かな成長に向けて総合的な指導・支援を行えるようにする。そのため、近隣小学校における学習支援ボランティアの活動等に引き続き積極的に参加し、自らの力量向上に努める。 ※関連するディプロマポリシー（教育目標） ③子どもの発達を軸にして保育・教育を考える力 ④エデュケアの考え方に基づき保育・教育を実践する力

◆各年次の到達目標

<管理栄養学科> (認定課程：栄養教諭一種免)

履修年次		到達目標
年次	時期	
1年次	前期	・入学時でのオリエンテーションにおいて、教職課程についての説明や栄養管理学入門で栄養教諭制度を理解する。管理栄養学科の学生としての基本的知識を習得する。
	後期	・教育や教職に関する基本的事項を理解する。 ・教職課程の履修を通して、教員として必要な教養や基本的態度を身に付ける。
2年次	前期	・教育の歴史・原理、児童生徒の発達過程・心理等について理解をする。 ・「栄養教諭論Ⅰ」において、栄養教諭の職務内容、学校給食の管理と指導を理解し、管理栄養士養成課程の履修科目で習得した知識を関連付けながら、栄養教諭に必要な基礎知識を習得する。
	後期	・教育と社会のあり方について理解する。 ・「栄養教諭論Ⅱ」において、食に関する指導を進めるために全体計画の作成方法、学校・家庭・地域との連携のあり方、地産地消の進め方、給食の時間の指導方法や技術について習得する。
3年次	前期	・児童生徒の教育に関する相談について基礎的知識・技能を習得する。 ・栄養教育論Ⅱで学校における食育の実態を理解し、栄養教諭の役割や重要性を理解する。 ・栄養教育論実習Ⅱでは模擬栄養教育の実践を通して栄養教育マネジメントを習得する。
	後期	・教育課程について、意義や編成方法について理解する。 ・栄養教諭実習Ⅰでは、栄養教諭として必要な資質、マナーを身に付け教育実習に向けての心構えや力をつけていく。 ・地域の小学校で栄養教諭の授業実践にふれ、子どもとの関わり方や指導上での配慮の方法について学ぶ。
4年次	前期	・教科等の学習活動に関連づけ、食に関する指導の学習指導案を作成する。 ・教育実習では、学校給食の献立、子どもたちの食の実態を確かめながら、教員として必要な知識と技能を習得する。
	後期	・教職実践演習において教職課程の授業科目で培われた資質・能力を高めるとともに教員としての実践力と問題解決能力を養う。